

令和4年度長崎県看護協会通常総会および第2回理事会報告

6月18日(土)ながさき看護センターにおいて、令和4年度公益社団法人長崎県看護協会通常総会を開催しました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小する形をとったため、委任状提出者7788名、オンライン活用による離島支部会員38名を含め出席会員83名、役員・委員・協力員47名の計7918名の出席による開催となりました。会長から議長団の推薦があり、県南支部の馬場悦子さん、県北支部の山村緑さん、上五島支部の川上千穂さんの3名が承認されました。議長団の議事進行により、第一号から第三号までの提出議案は承認されました。会場から、長崎県看護協会あり方検討委員会報告書の内容の公表について、長崎会館の管理並びに今後の進め方について、看護基礎教育4年制化について、令和4年度予算について、役員の選出についての質問がありました。また、会員への情報の伝え方について、公益社団法人として行動についての意見がありました。あり方検討委員会の報告書については、会員の皆様への公表を含めて、これから理事会で協議するとの回答がありました。

総会終了後、改選された理事21名と監事3名が出席し、第2回理事会が開催されました。理事会では、定款24条に基づき、総会の決議によって選出された会長候補者、副会長候補者、専務理事候補者から会長、副会長、専務理事を選定する方法によることができるとなっていることから、会長候補者を会長とすることの賛否を問い、出席理事21名の賛成により、西村理事が会長に承認されました。同様に、副会長に谷貴子理事、日野出悦子理事、木下日出美理事、専務理事に余里康子理事が選定されました。続いて、会長の業務執行にかかる職務の代行順位について提案があり、1番目谷副会長、2番目日野出副会長、3番目木下副会長とすることが承認されました。